

その節は  
お世話になりました



お久しぶりで  
ございます  
王女様……



今日はレイナが  
カイトくんの話がある  
ということだ

このような機会を  
あたえていただき  
ありがとうございます

カイト久しぶりね  
あたしねカイトに  
どうしても会いたいわ  
お願いしたのっ

そしたらね  
会っただけじゃなくて  
一緒にいらしていいって  
王女様いってくれたの

それだけじゃないのよ  
パパもね  
一緒に暮らそうって  
言ってくれたのっ

あたし思ったの  
こんなに優しい人達に  
囲まれてなんて  
幸せなんだろうって

カイトどうしたの？  
なんでそんな  
悲しい顔するの？

もしかしてもう  
兵士になるって  
言っちゃったの？

あたしたち  
また一緒に  
暮らせるのよ？

全て知らない言葉に  
聞こえた——

全て知らない  
人に見えた——

兵士にならば  
一緒に暮らさ  
今からでも  
おれんなら

好きなら  
えらび

ははははは

聞こえた——



いこいこ  
——あふあふ——



誰だ——？

一年後——



まー！  
危ないから  
ここで遊んじゃだめだ



道をあけろッ!!

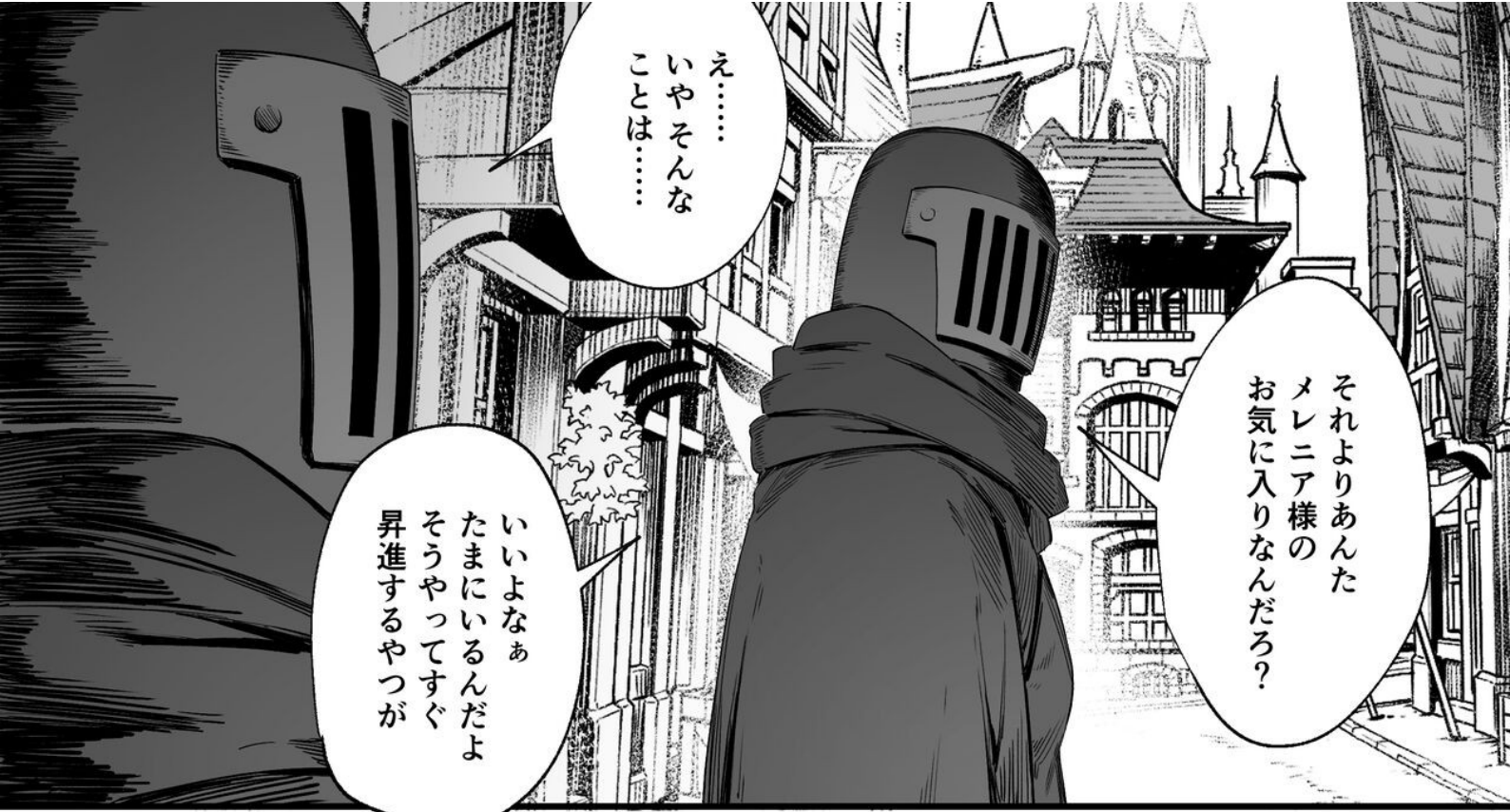
今からメレニア様がお通りになるッ



たまにあるんだよ  
ピンポイントで  
変なとこ通る時がな



メレニア様も  
なんでこんな  
狭いところ  
通るんでしょうね



え……  
いやそんな  
ことは……

それよりあんた  
メレニア様の  
お気に入りなんだろ？

いいよなあ  
たまに  
いるんだよ  
そうやって  
すぐ  
昇進するやつが



君ここは  
いちやだめだから  
あっちへい

久しぶりだね  
お兄ちゃん

？  
何言ってるんだい  
ほらはやくこっちに



んっ……

うあああッ



たまに……いるんですか？

ああそうだよ

おいっ  
見えたぞ  
子供どけとけ



次はこの人  
なんだって  
お兄ちゃん——

